

島 嶼 型 肉 牛 を 支 え る 条 件

早 川 康 夫 (九州農業試験場)

HAYAKAWA, Y. : Factor of Keeping Beef Cattle in Islands

九州農政局は1980年5月、農業情勢報告のなかで特に“肉用牛飼養の構造”という項目を設け(通称九州の肉牛白書と呼ばれる)。地域別の子牛生産状況を次の3つにまとめている。すなわち、

①平地耕地型：大隅半島シラス迫田(きこだ)などで見られる水田作などとの複合的飼育型式。

②高原草地型：阿蘇九重の広大な草原を活用する型式。

③島嶼型：島における肉用牛飼育型式

①と②の型式は九州以外でも見られるが、③をこのように特別に取上げて分類するのは、島嶼における牛飼いの長い歴史、銘柄牛としての評価が高いためであろう。しかし何れの島にも牛が沢山飼われている訳ではない。例えば五島牛の産地として有名な長崎県五島列島では、

	水田			水田			
	面積	肉牛		面積	肉牛		
	ha	頭数	ha	頭数			
小 値 賀 町	683	1,833	奈 留 町	1	1		
宇 久 町	653	2,677	若 松 町	10	88		
福 江 島	福 江 市	537	4,411	中 通 島	奈良尾町	2	35
	富 江 町	176	807		上五島町	50	130
	玉之浦町	189	892		新魚目町	16	118
	三井楽町	130	1,507		有 川 町	27	59
	岐 宿 町	130	1,707				

牛の少ない島は第3紀水成岩からなり、保水力に乏しく降雨の大半を海に流ささせるため水田ができない。従ってこれと複合飼育される肉牛も少ない。小値賀、宇久、福江島は環日本海アルカリ岩帯に属する玄武岩その他玢岩、流紋岩、花崗岩などは貯水タンクのような役を果たすため水田が作られるが、これと複合飼育される牛も多くなる。特に玄武岩台上は草原化しやすく、放牧地に使われるなど牛を飼うのに都合良い環境を持つ。福江島鬼岳や京岳周辺の1部には養蚕との複合が若干見られるが、島嶼という地理的特長を除けば平地耕地型同様に肉牛を支えているのは水田との複合飼育であり、水田と飼料生産のための野草地や飼料畑が近接共存する条件を必須とする。従って純水田地帯では専業もしくはこれに準ずる酪農や仕上げ肥育はあっても、肉牛の繁殖育成は成立しがたい。

以上の条件を満し島嶼で最も多数の肉牛を擁するのは壱岐であり、1万頭を越す。壱岐は水田の多い島で、低い玄武岩丘陵が錯綜しており、野草地(1部雑木林化)と水田が近接共存する典型的島嶼であるが対島は水成岩

のみよりなり水田が少なく、面積は壱岐の5倍もあるが、肉牛頭数は1/5である。

この他長崎県下には、柱状節理が発達し、透水性良好なためノシバの優占する玄武岩の島として、平戸、生月、的石大島などあり、放牧に利用されているが、佐賀県七つ釜の近くの神集島とともに律令時代に国営牧場に相当する牧が置かれた所で、ここに産した牛は特に素質良好として都大路で牛車をひき名声をえた。

以上のように一般に島は水に乏しいのが通例であるのに、玄武岩などが分布するお陰で水田と草原が共存し牛の産地として古くから著目されたもので、他地方でこれに類する島は隠岐道前の諸島、見島それに韓国済州島などが挙げられる。ただし本土でも玄武岩の分布する地域は同様な環境を持ち昔から牛の産地になっており、頭書農政局の地域分類では島原雲仙を含めた長崎全县を島嶼型にまとめているが、共通するものを感じたためと思う。

天草及び甌島は水成岩の優占する島々で(断層線沿いに安山岩、花崗岩が散見される)、リアス海岸の干拓水田との複合で細々と肉牛が飼われていた。近年構造改善事業で飼料畑を造成し増頭に努力しているが、もともと安定草原の成立が難しく、飼料作を主とすべきで甌島の草地はわらびに被われ管理に苦勞している。

屋久島と種子島は隣り合っているが性質が著しく異なる。基盤は同じ水成岩だが、屋久は花崗岩の高い山塊を載せ全山豊富な湧水で細文杉を育て草地の入る余地はない。種ヶ島は水は乏しいが、水成岩上に堆積した約4mの霧島系火山灰がサトウキビや甘藷の適地となり、これと複合し肉牛が飼われる(甘藷の葉鞘利用などの複合利用)が、甘藷畑の中に専業経営に近い酪農家もあって、島嶼には珍しく搾乳牛が多い(通常は余剰牛乳の島外出荷が困難ということで島では一般に酪農は発展しがたい)。

トカラ列島は霧島火山の輝石安山岩系熔岩及び火山灰からなり、小さな島では移出が不利なためサトウキビの栽培ができない。宝島を除くと草地の安定維持も難しく、現状では肉牛の飼養を支える要素は少ない。ただし宝島には隆起珊瑚礁の草原があり、トカラ馬の産地として有名であったが、現在畜産的活用は乏しい。こうした隆起珊瑚礁の安定草原は奄美から沖縄に続き、南端与那国島にはコウライシバ草原も成立し、石垣・宮古はそれぞれ1万頭の肉牛を持つ。